


加賀で「空き家対策セミナー」 有効な活用方法考えて

空き家問題の解決を考える「空き家対策セミナーin南加賀」（北陸中日新聞後援）が二十九日、加賀市作見町のアピオシティ加賀であった。

県宅地建物取引業協会が主催し、加賀、小松市などから空き家所有者やその親族ら四十人が参加。同協会の新谷健二会長は、空き家の定義や空き家が増加する原因を説明。「空き家になる前に、有効な活用方法を考えておくことが重要」と呼び掛けた。金沢市の司法書士森欣史さんも、相続や近隣とのトラブルといった法律問題について話した。

セミナーに続いて個別相談会もあり、参加者が南加賀四市一町の自治体職員や、空き家取引業や解体業の専門家に質問していた。

（竹内なぎ）



空き家対策などについて話す新谷健二会長。加賀市作見町で

空き家活用方法学ぶ 加賀でセミナー 県宅地建物取引業協会の

「空き家対策セミナーin南加賀」（本社後援）は29日、加賀市のアピオシティ加賀で行われ、約30人が空き家を活用する方法や管理の知識を深めた。

同協会の新谷健二会長が

空き家対策特別措置法などを説明したほか、加賀市の担当者が市内の空き家の状況や歴史的な建造物を対象とした町屋再生事業、空き家バンクの取り組みなどを紹介した。